

平成 30 年度第 2 回瑞浪市男女共同参画社会推進会議要旨

日時:平成 30 年 9 月 19 日(水) 13 時 00 分~14 時 40 分

会場:瑞浪市役所 2階大会議室

出席者(敬称略): 渋谷典子、近藤悦子、古澤辰広、浅沼克郎、小木曾みどり、板垣城二、安永幸子、
工藤美佐子、大竹悦子、津毛信代、西尾直美、伊佐治康利、安藤八重子

〈事務局〉 まちづくり推進部長 景山博之、生活安全課長 三浦正二郎

生活安全課人権啓発係 鈴木友恵、山崎道美

欠席者(敬称略): 最上幸子、森孝浩、稲葉助國

議題: (1)「第 2 次みずなみ男女共同参画プラン」進捗報告について
(2)平成 30 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について
(3)その他

内容

(進行:事務局)

1. まちづくり推進部長あいさつ

(省略)

2. 座長あいさつ

夏が暑くて、私も夏バテをしてしまいました。今年の夏は地震や台風もあって大変な夏だったと思います。この地方の話題でいうと「半分、青い」がもうすぐ放送終了しますが、私のマンションの夏祭りでも五平餅が一番早く売れたそうで、ドラマのパワーが全国から注目を集めているのではないかと思います。男女共同参画も全国から注目を集める可能性もありますので、ぜひまたご一緒によろしくをお願いします。

3. 議事

(進行:座長)

(1)「第 2 次みずなみ男女共同参画プラン」進捗報告について

(座長)議題1と議題2について、事務局から説明願います。

(事務局)資料に基づき説明

(座長)事務局からの説明について、何か意見はありますか。

意見・質問、特になし

(2)平成 30 年度瑞浪市男女共同参画市民講演会について

(座長)事務局から説明願います。

(事務局)資料に基づき説明

(座長)事務局からの説明について、何かご質問やご意見はありますか。

この中にワールドカフェを体験された方はいらっしゃいますか。

ワールドカフェはグループになって話をするというのがメインですが、1回目のグループの中で話したあとに、まず、そのまま残る方がいて、1回目の話題をその方がまとめて次の方に伝えるというような、単なるグループワークではなく、1 回目の話題が次の話題につながるような仕組みができていて、残った人以外の方はぐるぐる回って次のグループに回っていくような人が入れかわるグループワークです。例えば、1 回目のテーマを子育てについてとか講師の話を聞いてどう考えたかというようなテーマで考えた場合、2回目のテーマはその話を元にして瑞浪市ではどんな子育てをして子育ての社会作りたいかテーマ設定をして、みんなに話し合ってもらえる事もあるので、比較的皆さんからの意見を引き出し易い、それで模造紙を真ん中において、みんなでマジックで思いついた

ことを絵でも字でもいいので書き置いておくということなので書類のものではなくとにかく自由方式です。

(参加者)一つのグループだけだと意見も偏ってしまいますし、ほかの方の意見も聞きたいこともあるので、ワールドカフェはそういった意味でも価値があると思います。

(座長)ありがとうございました。人が入り乱れて、会場では「次のグループに行きますよ」と言うと、みんな空いている席を探してぐるぐる回っていくというような、比較的自由な雰囲気、カフェにいろいろな形で話をしようというような方式です。講師の方と相談が必要ですが、おそらく講演を1時間ぐらい聞いた後、カフェの「ラウンド」といいますが、2ラウンドか3ラウンドぐらいしていろいろな人の話を聞くというような形式になるのではないかと思います。まちづくりとか計画をつくるときに、市民の皆さん一人ひとりの意見を聞きたいときや、大学などでもワールドカフェの方式をします。話すほうが自分の中でアウトプットできて、講師の話だけではなくて、参加者の「どんなふうに考えた」という話を聞くことで、またより一層理解が深まるということでこういう方式がとられていることも多いです。ワールドカフェ方式についての質問でもいいですし、今回のプランの1と2、御提示くださったところの御意見でもよいので、どうぞカフェ方式で自由に話していただけたらと思います。

(参加者)ファザーリングジャパンの方はワークライフバランス、パパをイクメンというような項目があって、おもしろそうだなと思いました。もう一つの藤田さんの方を検索してみたら、やはり子育ての中で、家事育児というのは非常に大きなポイントになるところかなと思ったのがひとつ、検索していったら、「藤田結子 炎上」と出てきて、結局非難されているということですが、それだけ関心度が高いというか、考えるべきものがあるのかなと思いました。1の藤田さんの講演で、しかも子育て世代に的を絞って、本当に聞きたいなと思って来ていただければ、いい話ができるのではないかなと思います。

(参加者)講演後に参加者同士で話し合いがしたいということで、意見を書いて出しました。いろんな講演会をやって、残念なことに聞きに来てくださるのは同じメンバーで、地域や各種団体ですごく活躍されていて私なんかよりも男女共同参画も詳しい方ばかりでした。意見もちゃんと持ってみるので、ただ聞くだけじゃなくて、ワールドカフェということを意見で出しました。私は男女共同参画について何も知りませんでしたが、渋谷先生のお話を聞くうちに少しずつわかりました。先生のお話は楽しいお話なので、みんなにも聞いてもらって意見をそれぞれ出してもらったら、もうちょっと裾野が広がっていくのではないかなと思います。

(座長)せっかく参加してくださったので、皆さんで意見交換できるような場ですよ。

(参加者)今、切実な問題としてはやっぱりプラン1の子育てだと思います。少子化が何よりも問題になっていますし、子供たちの子育てを見ていると随分大変です。核家族になっていますので、手助けがないということは本当に負担が大きいんですね。今の若いパパの方たちは割と私たちの頃と比べると、協力的にはなっているとは思いますが、まだまだ母親の負担が大きいのでこの先生のお話はいいのではないかなと思いました。ただ、この年代の方を集めるというのは難しいので、その点は幼稚園の保護者会の企画や講演会に協力願うとかして幼稚園の行事として人集めをするのはどうかと考えました。

(参加者)私もプラン1がいいと思います。「中日新聞に載ってこの話を聞きたい」という方もみえるっていい反応があるならばとても良いと思います。そして、参加者がおしゃべりできる会っていいのも良いと思います。お話を聞いた後で、お母さん方は「何か話を聞いてほしい」と思っているような様子を見ることがあるのですが、話すことによって楽になる、そういう話し合いができるといいなと思いました。ワールドカフェ方式は、今、ワークショップなんかで、よく模造紙で附箋を貼って意見を出すというのをやっていて、とても意見が出しやすいのを実感したのですが、このワールドカフェ方式

は発表があるわけでしょうか。

(座長)そのときによって、使い分けています。全員に発表してもらおうのか、あるいはこのことだけはみんなに伝えたいと思う方に発表していただくのかは、講演会がどういうものを期待されているのかどうか、私たちがどういうものが欲しいのか考えてプログラムを組みます。発表するというと発表するための話になってしまうので、そのあたりは工夫して、必ずしも発表しなくてもいいという、みんなでしゃべった後に「やっぱり発表したい」ということもあります。講演会の講師の方との相談であったり、私たちがどういうものを求めるかっていうところで変わってくると思いますが、いかようにもプログラムを組めると思います。

(参加者)時間配分なんかがちよっと大変とは思いますが、講師の方にも入ってもらったり、確認をして配分をしなくてはいけないとは思いますが、プラン1で、後で話し合うのがいいなというように思いました。

(座長)保育園関係と連携することは可能ですか。

(事務局)園長会等で提案すれば可能だと思います。児童館の方でも宣伝してもらうこともできるかと思えます。

(参加者)宣伝はもちろんさせてもらいますが、人集めがやはり大変だと思います。小さいお子さんは昼寝の時間が重なってしまうので、この時間だと外に出にくいという方があって、児童館はこういった方を対象にする場合は午前に行事を組んでいる状況です。児童館でも今「イクメン」に力を入れていまして企画しているところですが、参加人数が多いのはやはりプラン1かなと思います。ただ、先ほど言われたように、子育て世代の男女対象ということになると難しい点もあるような気がします。きっと出てこられる方は本当に子育てを終わられて、色々なところに出てみえる方々が中心で来てしまう気がします。

(座長)この日は託児サービスはありますか。

(事務局)お願いすれば可能です。

(座長)託児があってもなかなか午後は難しいですか。

(参加者)陶のまちづくりでファミリーコンサートを企画しました。小さい子供さんも楽器の近くまでいっても構わないし、騒いでも全然いいですよっていうコンサートで、親子で楽器を作る企画もしたのですが、親がなかなか集まらず祖父母と一緒に連れて来て、結局は子どもと年配の方が集まる様な感じになったので、もうちょっと若い方に参加してもらいたかったです。幼稚園にもチケットを配ったんですけど、子供さんは来るけど親さんは来ないという状態だったので、このプラン1子育て世代の方が果たしてどのくらい来てくれるのか不安があります。

(参加者)プラン1を見たときにお母さんの不満をお父さんが一生懸命聞いて、「お父さんかわいそうだな、でも頑張らないかんのかな。」っていうお話を聞きにくいというイメージ。プラン2は“笑っている父親”ってなんてすばらしいんだろうと思いました。お父さんがこの話を聞いてお父さん自体がそうだろうと思ってくれるような、やらされるじゃなくて自分からそう思えるような話を期待します。

(参加者)私も同じ心配は持ちました。聞きに行ったのはいいが、男が小さくなってじっと耐えるような感じを受けるのではないかという心配はありました。「育児をしない父親、できない父親」ということで藤田教授のインタビューが出たのを読みましたが、最終的には、時間的なゆとりがあろうがなかろうが家事をやらない夫はいる。やる人もいるけどその時間は1時間か、せいぜい2時間程度だろうと。藤田さんの訴えていることを解決するための一つとしては、イクメンパパに育てることが必要ではないかなと。そうでないと藤田さんの本を読んでも一向に解決しないという感じを持ちましたので、意見を翻してプラン2にしていきたいと思っております。

(座長)ありがとうございます。意見を翻しても良い方向に向かうと思います。

- (参加者)自由参加で、「各園何名」と動員をかけるというような形ではなく意欲が大事だと思います。
- (座長)行きたいなと思うものが勉強にもなりますね。
- (参加者)最初はプラン 1 の方が多いのかなと思いました。子育ては女性の方が主力になり、男性は外で働く中で、男性が、奥さんのいう問題点が分からない、何が問題で何を求めているのか分かれば、また男性の方も動けるのではないかと思います。
- (座長)先日の参加者からのアンケートで、「出生率の低さは大問題ですが、その前に結婚率の低さも大いに関係しているの shouldn't でしょうね。それで瑞浪市はこんなに住みよい町ですアピールとか、こんな子育て支援やりますアピール等の発信の場などでは。」っていう御意見を出してくださった方がいらっしゃいました。そういう意味では、家族の中だけのやりとりだけじゃなくて、社会的な支援もぜひ活用してくださいというような場にしていくのもひとつだと思います。ワンオペ育児の理由は夫が参加しないだけじゃなくて、社会の支援があるのにもかかわらずそこにたどり着いてない人もいらっしゃるのではないかとということも含めて考えると少し多角的に見えるのではないかと思います。瑞浪市は待機児童ゼロですよ。そういう意味での発信みたいな形で、「待機児童がいないけど、じゃあ何に困っているのか。なぜワンオペになっちゃうのか。」というようなところの話も聞くのであれば、先に講師に頼んでおいたほうがいいのかもしいかなですね。
- (参加者)先ほど旦那さんを上手に育てて一緒に手伝ってもらっておっしゃられたんですけども、多分子供さんを産んで育てている人で、例えばへとへとの人がいたら、もうそれ以上旦那さんを育てる気とか無いと思うんですよ。でもこの著者の方が、こういう本を書いたってということは、それだけのエネルギーがあるってことなので、そういうエネルギーの話を知りたいなという気はします。本当にへとへとで実際に困っている人がいればその話を聞きたいなと思いました。
- (参加者)プラン1も2も、集まる方が変わるかもしれませんが、参加人数はそんなに変わらないと思います。私はプラン1が興味あるなと思います。私の娘もつれあいが育児には余り携われない状況の仕事をしているので、ほとんど娘が1人で、あと私たちが助けています。息子は、家を選ぶ時とにかく嫁の実家に近い所で決めました。おかげで育児ノイローゼにもならず過ごしています。本当に育児っていうのは大変なので、一人でも困った人がいれば、ここに来て一人でもほっとして帰れる場になればと思います。
- (座長)テーマというか呼びかけ文で変わるのではないかといます。夫側の人も「仕事があつて帰って来られないのにへとへとで文句言われて・・・」と、それぞれの立場の御意見があると思ので、「夫も妻も子育てについて考えよう。」というようなムードにしていけばどうでしょう。
- (参加者)「笑っている父親」という響きが嬉しいなと思って、そういう話聞きたいと思いました。ワンオペ育児の方も、父親非難ではなくて、「こういう社会にしましょう。」というような、何か提案をいただければありがたいなと思います。日本はまだ「男性が仕事をする」という会社が多いので、「絶対に5時に終わる」とか、「絶対に月に何日かはこどもの日」の様な感じで、家のことを手伝う日というものをもまずやっていかないといけないと思います。自分は好きで育児をやってきたので楽しかったのですが、本当にフルタイム仕事してみえる人が帰ってきて、一日家にいる者と同じ分量の家事が残っていると思うと、それは大変だろうなと思います。それがちゃんと2人が早く帰って来られるのなら、こなしていけたらいいのかな、そういう社会だったらいいかなあとは思っています。余談ですが、娘が台湾に住んでいて、この前旦那さんの中学校の同窓会があるということで、旦那さんが子どもを連れて同窓会に行きました。娘は仕事で疲れて、日曜日だったので行かなかったのですが、中学校の同窓会を児童館で企画されたんです。凄いなと思いました。もちろんお母さんも来てみえれば、お母さんは同窓生じゃなかったけど、つれあいということで来てみえるファミリーもあれば、お父さんが子供を連れて参加した同窓会で面白いなと思いました。

(座長)基本目標の3のところ、市の男性職員における妻の出産に伴う休暇の取得率が70%になって上がっていますが、なぜか市男性職員における妻の産前産後の子供の養育のための休暇の取得率は0%で、この数字だけですが、一瞬の父親はやるけど、一生の父親は、そこに持続可能性がちょっと見られないのかなと思いました。プラン1でいくのであれば、育児休業とった方とか、育児に積極的に参加されている方にもちょっと出てもらってコメントしてもらいたいようなこともあればどうでしょうか。「こんな工夫をしています」とか、あとプラスアルファで瑞浪にはすごい支援がありますよっていう宣伝も含めていくと、今の話全体が少し明るい方向に向かうのではないのでしょうか。

(参加者)うちは娘がいて、外に孫が一人いますが、よく家へ帰ってきます。うちへ連れてくると娘は孫をおいて、携帯を構って、それが終わると疲れて寝てしまう。自分は孫を見させてもらえば半分うれしいので、それはそれでいいのですが、母親は土日出勤があり、旦那さんは休みだと、日曜日でも子供の面倒を見なくてはいけない。その中で育児、炊事、洗濯とかその辺のバランスを、男女でどう仲よくやっていけたらいいのかなということをよく考えている中で、自分がちょっと手助けになればという位置で動いています。その中で、自分たちの娘も夫婦でストレスがたまらないような、何かおもしろい案がプラン1で聞けたらいいと思いました。

(参加者)育児中の若いお父さんとお母さんの実態がわかるという点でも、支援しているおじいちゃんおばあちゃんがプラン1の話聞くとよいのではないかなと思いました。講師を比較するとプラン2は情報がざっくりしていて、プラン1の方が魅力を感じました。

(参加者)実は私の家でも娘が近くに住んでいます、子供が生まれたばかりで、娘の旦那さんも仕事が多くて帰りは早く帰って来られないということで、私もいろいろと忙しく面倒見えています。来年ぐらいになると保育園に行き出すころも大変かなと思って、こちらも本当にノイローゼになるぐらい心配しています。この講演というのは子育て世代の男女が、小さな子供を連れてまで、託児があってもなかなか出る気がしないというのがあるのではと思います。1番のほうで幼稚園の父親参観日のような時に合わせられるといいと思いますが、細かく地区を回れないので、1カ所に集めてというのなかなか難しい点もあります。ジジババの孫育てとかが合っているかと思っています。

(参加者?)私は、学童保育所に勤めているのでへとへのお母さんをいっぱい知っています。学童だから両方とも働いていて、やはり御主人のほうが多いし、遅い。へとへのお母さんって、話を聞くだけではへとへとは直らない、自分がへとへのことを聞いてもらいたいですよね。このプラン1もいい話だと思うのですが、そのへとへと発信するような何かがある企画の中にあるといいのかなと思いました。

(座長)とてもよいアイデアだと思います。第2部は「あなたのへとへを聞きましょう」で、おじいちゃんおばあちゃんのへとへもいいですよ。私も孫が遠くにいるのでほとんど面倒見していないのですが、面倒見ると自分の子じゃないときは本当に大変だろうと思うので、おじいちゃんおばあちゃんのへとへを聞いてもらう、もしかしら企業の方もお誘い出来ればいいですよ。さっきおっしゃられたように、企業とか会社上司の方、経営者がやっぱり変わっていつもらわないと、男性はなかなか育児に参加できないのではないかなとお話を聞いていながら思いました。

(参加者)私はもう一遍ひっくり返してやはり1でいいかなと思います。ただ、自由な社会でいろんな働き方や生き方があるので、「私は子育てが大好きだから専業主婦でいきます」という家もあっていいし、逆に女性の方が稼ぎが多くて、旦那さんが遊べるだとか、色々なパターンがあり、どの辺にターゲットを置いて、話されるのかまだ十分つかめていませんが、インパクトは強いかなと思います。人集めは大変困難をきわめるだろうかなと思います。

(参加者)家族じゃなくて男の人が変わればいいことで、奥さんと来るのではなくて、1人で男の友達、男同士で男の集まりとして、来るっていうのはいいじゃないかなと思います。多分男性は何をしりたい

いか分からなくて、奥さんに言われてやるのをよしとする人と、不満になってしまう人といるので、自分から変わらないと育児を楽しめないと思います。

(座長) 欲張りですが、へとへとな話と笑う父親とで、二人で対談してもらえたら面白いですね。

(参加者) プラン2ですが、育児育児とあんまり言うよりも、やっぱり家庭で父親が奥さんの仕事を助けると、それも育児になるので、楽しく、父親が家事や色々なことを出来れば家庭の中がうまくいくのではないかと思います。笑っている父親を増やすというのも良いかなと思って、プラン2に提案します。

(座長) 児童館でもし宣伝するとしたら、どちらが人が来そうでしょうか。

(参加者) 児童館では今、イクメンを推しているのですが、プラン2の方が児童館としては、お誘いしやすいんですけど、果たして集まるかということになると難しいですね。だから1か2か迷います。確かに今、本当に世の中が変わっている状況が見えます。お母さんたちの生の声を聞くと、出産のときにお父さんがお休みをとれるとか、育児に協力できる会社が増えてきているのを感じますが、愚痴みたいな話を聞くと、やはりお母さんが働いてきて帰ってきた時に、お父さんがテレビを見てボーっとして怒れちゃうという声も聞くので、社会も変わってきていますが、やはりそれぞれの家庭で協力してもらえ方と、してもらえない方があります。このへとへとは、やはりお母さんのへとへの気持ちがお父さんに伝わって、少しでも奥さんに協力しようという気持ちが、生の声を聞いて、ほんの少しでも芽生えるといいかなと思います。

(参加者) 皆さんの御意見はとてもいいものですから揺れますけど、どちらにしても人集めが大変だなという感覚ですね。やっぱり1時半から3時ですと、完全にお昼寝の時間ですね。そのときにやっぱり若いお母さんに来てもらうのはちょっと難しいですし、パパだけを呼んでくるっていうのもなかなかこれ難しい。ママが行くならパパもくっついて来るかなという感じですけど、パパだけ出かけるっていうのはなかなか難しい問題じゃないかと思います。難しい難しいって言ったら話が進まないです。私としてはちょっと道筋が見えません。

(事務局) プラン2はいろいろな講演をやってみるので、内容はまた皆さんからの御希望次第で考えて、講演タイプでも、小人数向けのものでも対応はできますというお話は伺っています。

(座長) 私の私案ですが、例えば、瑞浪市の育児サービスの現状とか、男女共同参画のお話を30分ぐらい時間をとって話させてもらって、そのあとファザーリングジャパンの方にお話をしてもらってワールドカフェをするような形にすると、瑞浪市の姿勢が出てきて、「瑞浪市はへとへとのお母さんを応援してます」とか、「へとへとの疲れ果てたお父さんを応援してます」というようなそういうメッセージを発信する場、それが男女共同参画の道筋だと思います。その辺のプログラムをうまく、複合的に含み合わせていけばどうでしょうか。もしかしたらこの6月16日の新聞を配ってもいいということであれば、新聞でこういうことが出ていたんですよって言う話もできますが、いかがでしょうか。

(参加者) 今、座長さんの話聞いて納得です。気楽に皆参加できて、講師料も妥当だと思います。2番のほうが良いと思いました。

(座長) 事務局はいかがですか。

(事務局) ファザーリングジャパンは、父親の育児だけでなく、ワークライフバランスや男女共同参画のお話もできるということだったので候補挙げさせてもらいましたが、先ほど先生の御提案は大変良いと思います。

(座長) あともう一つ付け加えると、最近ここ1週間ぐらいだったと思いますが、新聞で読んだ記事で、産後に自殺する女性が多いという記事があって、「産後うつ」の調査をされた記事などもあるので、そういうものを資料として配って、待っている間に読んでいただいて、講演の中に「藤田さんがお話しされたへとへとの育児の話」も入れてくださいと御依頼できますよね。多分2番のプランだった

ら。

(事務局) 2番になった場合にファザーリングジャパンさんに、そういった先生の情報提供と産後うつ
のことなど、現状も含めてお話をしてくださいと提案すれば対応していただけると思います。

(参加者) 先生が言われるように、2のプランを「笑っている父親」っていう題にこだわらずに、今の1の
プランのこういう問題が瑞浪市にあるんですよと、それを踏まえて話を進めていただければ、両方
とも事がうまくいって落としどころがみえてくるのではないかと思います。

(参加者) 2番は、やっぱり先ほどもお伝えしたように、来ていただいて、そしてその人の気持ちが変わ
ってくれたらいいなと思います。プラン1だったら、瑞浪市ではどういうふうに関育をして
いる人の助けができるでしょうかという新しい催しとか、助ける方法を私たちだけでもちょっと考える
ことができるんですけど、プラン2の場合だと、聞いていただいた方に考えていただける、気持ちを変
えていただける、勉強していただける、それができるのではないかなと思います。

(座長) おおよそプラン2で、プラン1の状況も踏まえて前半お話をさせていただいて、後半がワールド
カフェにするという形でもよろしいでしょうか。恐らくファザーリングジャパンの方が複数で来てくだ
さればワールドカフェのときも混じってやったださると思うので、もしかすると瑞浪市で気があった人
がいれば、ファザーリングジャパンの会員が増えたりして、ネットワークが広がるということを期待も
込めてということでもよろしいでしょうか。

(事務局) 前回、歌を歌うという話がありましたが、ファザーリングジャパンさんが絵本ライブとかもやっ
てみえるので、一緒に歌を歌うということもできるかもしれませんので、その辺も含めて一度問い合
わせしてみたいと思います。

(3)今後のスケジュール

(座長) 議題3について、事務局から説明願います。

(事務局) 資料に基づき説明。第3回会議は平成31年2月を予定。

(4)その他

(座長) 議題4について、事務局から説明願います。

(事務局) 下記について案内

- ・「2018働く女性のためのキャリアアップ講座」について
- ・「イクボス養成ミニ学習会」について
- ・「防災講演会」について
- ・「サニー・フランシス氏講演会 異文化と出会う～インド人から見た日本(人)～」について

(座長) 議事がすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しします。

(事務局) スムーズな進行をありがとうございました。これで議事がすべて終了しましたので、平成30
年度第2回瑞浪市男女共同参画社会推進会議を終了します。

閉会